© EPODOC / EPO

PN - JP56044816 A 19810424

PD - 1981-04-24

PR - JP19790120613 19790921

OPD - 1979-09-21

TI - VACUUM GAUGE

IN - SUKENOBU SATORU

PA - TOKYO SHIBAURA ELECTRIC CO

IC - G01L21/00

OPAJ/JPO

PN - JP56044816 A 19810424

PD - 1981-04-24

AP - JP19790120613 19790921

IN - SUKENOBU SATORU

PA - TOSHIBA CORP

TI - VACUUM GAUGE

 PURPOSE:To eliminate the influence of magnetic field by measuring the degree of vacuum from the vapour coating speed of segment of material directly vapour coated and the vapour coating speed of segment of material indirectly vapour coated.

- CONSTITUTION:Vapour coating material sourdeis vaporized by heating filament 5 and vapour coating speed measuring element7a is directly vapour coated while vapour coating speed measuring element7b shielded with shield 8 is vapour coated with a segment of vapour coating material4 which collided with gas molecule in vacuum container 1. The ratio of the output of measuring element7a against the output of measuring element7b varies depending upon the density of gas molecule in vacuum container 1. As a result, resistance values of element 7a, 7b are differentiated through differentiation circuit 13 and the needle of meter 15 is made to swing with the differentiated ratio to measure the degree of vacuum.
- G01L21/00

(19) 日本国特許庁 (JP)

① 特許出願公開

⑫公開特許公報(A)

昭56-44816

Int. Cl.³
O 1 L 21/00

識別記号

庁内整理番号 7187-2F 43公開 昭和56年(1981)4月24日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 3 頁)

60真空計

@特

願 昭54-120613

20出 願

頁 昭54(1979)9月21日

⑫発 明 者 祐延悟

川崎市幸区小向東芝町1東京芝 浦電気株式会社総合研究所内

⑪出 願 人 東京芝浦電気株式会社

川崎市幸区堀川町72番地

個代 理 人 弁理士 則近憲佑 外1名

男 超 書

- 1. 発明の名称 真 空 1
- 2. 呼許請求の範囲
 - (1) 被湖足がに連通してなる冷却された真空容器と、この容器内に設けられた蒸着額と、この蒸着源からの蒸着物質の蒸着速度を測定する蒸着速度構定装置とを具備してなることを特徴とする真空計。
- - (3) 第1かよび第2の無着速度側定案子を各4導

電性物質の導線で構成し、測定部を前配各々の 導線の電気抵抗を測定する抵抗値測定部と、 この側定部で得られた各々の電気抵抗の値を比較 する比の測定部とで構成したことを特徴とする 特許請求の範囲第2項配載の真空計。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、気体分子と蒸落物質との衝突を利用して真空度を計別する真空計に係り、とくに磁場のあるなしにかかわらず、簡単な装置で正確に真空度を計測できる真空計に関する。

一数に圧力 1 Pa より良い真空度を制定するには、電影真空計、ビラニ真空計、隔膜真空計が用いられている。電腦真空計は、電子が気体分子と衝突することによつて、気体分子をイオン化し、生成したイオンによる電流を計湖することを基本とするが、電腦真空計が、、破場中におかれた場合、電影子の走行する飛程の実効長が変化するため、電影子空計の感度が変化してしまう。またビラニ真空計は圧力 1 Pa より良い真空度を計例するときには関連が大きい。隔膜真空計は、顔定鏡像が複雑と

(1)

特開昭56~ 44816(2)

たる。

本発明は、上記欠点を解決するためになされた もので、磁場のあるなしにかかわらず観整の小さ な一定の感度をもつ真空計を提供するものである。

この発明は、真空容器内の気体の密度を気体分子と、 滅着物質との衝突を利用し、 蒸着物質源から直接見ることのできない 蒸着速度 測定案子に蒸着する 蒸着物質の蒸着速度と、 蒸着物質源を直接 見ることのできる蒸着速度 測定案子に蒸音速度との比を蒸音速度 測定 装置 でいたいかわらず、一定の感度をもつ真空計である。

以下、図面を参照してこの発明を詳細に説明する。 第1 図は、この発明に係る真空計の一実施例を示す縦断面図であり、第2 図は、この発明の性能を示す縁図である。

第1凶において、1は真空計の真空容器であり、 との真空容器1には、容器内を真空状態にする排 気管2が突設されている。との真空容器1は、一 度真空容器1の内壁に蒸着した蒸着物質が再び蒸

(3)

東子 7b と蒸着速度測定素子 7a に蒸着する速度の 比は変化する。との比を測定することによつて真 空容器内の真空度を計測することができる。

蒸潜速度測定業子 7a 及び 7b は、導電性物質の 線を用い、蒸着物質源に導電性の物質を用いる。 すなわち、フイラメント 5 に通電し、抵抗加熱す ることによつて、蒸着物質源4を蒸発させると、 蒸発した物質は7mの導線に蒸着される。さらに圧 カが10⁻³ Paより高い場合には、蒸発した物質は、 真空容器中の気体分子と衝突して蒸着速度測定素 子 7b の導線にも蒸着される。蒸着速度測定業子 7a 及び 7b の導線の抵抗値を抵抗値側定部12で調 定し、さらに彼分回路13によつて素子7a, 7bの 導線の抵抗値を時間的に微分し、抵抗値の比の側 定部14によつて素子7aと7bの導線の抵抗値の時 間数分した値の比をとり、メーター15にて扱わす。 素子 7a と 7b の導線の抵抗値の時間 微分は、素子 7a 、 7b に蒸着する蒸着速度を示すため、解2図 の性能を示す級図に表わされる圧力に変換され、 真空容器内の真空底を計測することができる。

発することを防ぐために、真空容器の外部に冷却管3を設置し、冷媒を流して冷却する。真空容器1の内低部に蒸着物質減4を健き、真空中でフィラメント5を加熱することによつて蒸着物質質4を変みを洗すことによつて行り。真空容器1の内天上部には、蒸着物質減4を直接見ることのできな、蒸着速度側定素子7aと、シールド8を設け、蒸着物質減4を直接見ることのできない蒸着速度測定素子7bとが配置され、フランジ9に固定されている。

無着物質点4から放出された蒸煮物質の一部は 真空容器内の気体分子と衝突して、蒸着物質源4 を直接見ることのできない蒸着速度測定素子7bに蒸着する。蒸着物質源4を直接見ることのできる。蒸着物質源4から放出された蒸着物質の一部が、真空容器内の気体分子と衝突した蒸着物質の一部も蒸着する。真空容器内の気体分子の密度に依存して、蒸着速度測定

(4)

以上に示した本発明は、真空度を蒸着物質と気体分子との衝突を利用して計測するために、磁場のあるなしにかかわらず正確な真空度を計測する ととができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示す縦断面図、第 2図は本発明の性能を示す線図である。

1 … 真空容器、

4 …蒸着物質源、

5…フイラメント、

7a,7b ···蒸着速度测定素子、

12 … 抵抗值都分部。

14 … 此の御定部、

15 … メーター。

代理人 弁理士 則 近 憲 佑 (ほか1名)

(5)



